

# カンボジア便り

## カンボジアで「音楽を教える」こと

今回は楽器の話をしてします。私のいる学校はバットンバンの中でも大きく、今までも JICA のボランティアをたくさん迎えてきました。そのため、隊員たちが集めた楽器が今でも残っていました。どれも古いので、タンバリンなどは完全に持つ部分が割れていて日本では捨てるような状態です。



しかし、楽器があるだけすごいのです。他の隊員の派遣されている中には「全く無い」という学校も。だから壊れた状態でも取っておくのでしよう。日本の皆さんから送ってもらえるピアノは、今回の写真に写っているような「楽器を演奏したことが全く無い」という子も使えるように、きちんと管理していく予定です。できるだけ長く使えるよう、楽器の正しい扱い方も私がこれから教えていきます。曲が弾けるようになったら、みなさんにも聞いて欲しいと思います。

## 日本とカンボジアの関わり

カンボジアにいる日本人の話をしてします。カンボジアには意外と日本人が多いのです。12月の頭に、世界遺産のあるシェムリアップでハーフマラソン（21キロを走るマラソン）があり、私も5キロの部ですが参加してきました。カンボジア人と外国人合わせて1万2000人が参加した有名なマラソン大会、実は日本人が始めたのです。マラソン選手の有森裕子さんという人が、カンボジアの人々にスポーツを広めるために作った団体「ハート・オブ・ゴールド」が主催し、今回で28回目を迎えました。



他にも、左の写真に写っている「い草（畳と同じ素材）」のサンダルを作る企業のように、日本人はカンボジアで様々な仕事をしています。日本の高速道路のような、カンボジアの町と町を繋ぐ長い長い道路を整備したのも日本人です。私の住むバットンバンから首都まで、昔は7時間かかった道が、今は5時間で行けるようになりました。

カンボジアの人はよく言います。「日本の物は信頼できる。」「日本は良い国だ。」それは、きっと今まで何十年もカンボジアで暮らしてきた、多くの日本人が作ってくれた信頼関係のお陰だと思っています。その信頼のバトンを落とさないよう、私も活動を頑張っていきます。

ロンガン  
味はメロンに似て甘い。  
プリプリしている。  
手で剥いて食べる。



カンボジアの  
フルーツ



チビミカン  
日本のみかんと一緒だがものすごく小さい。  
甘いものが多い。